

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	ご入居者の高齢化・重介護度化により、特殊浴槽の設備がないグループホームではシャワー浴もしくは清拭対応となってしまう。	①入浴回数の増回(2回/週→3回/週) ②清拭→シャワー浴、シャワー浴→個浴に対応変更する。	①入浴スケジュールの調整、シフト調整により、入浴回数の増回を試みる。 ②ご利用者のADL及び入浴に対する意向の再確認、入浴方法の検討と実施。	12ヶ月
2	35	コロナ禍であり、近隣住民との交流機会がない。緊急事態に備えた協力体制ができていない。	①気軽によっていただける環境整備 ②地域に向けた発信 ③近隣介護事業所との連携強化	①裏庭の整備、感染対策を実施してのイベント開催 ②定期的に看板にメッセージを掲示 ③他事業所との交流機会の確保	12ヶ月
3	49	コロナ禍の為、外出支援がほとんど行われていない。高齢者にとっては一日一日が貴重な時間であり、喜びや楽しみをもって生活していただけるように支援が必要である。	①月一回の外出レクを企画・実施する。 ②季節ごとの行事を充実させる。 ③日常的な外出機会の確保	・企画担当者の選出 ・ご入居者へのアンケート調査 ・感染対策の徹底、定期的な感染症予防研修の実施 ・施設内での日光浴、近隣への散歩を一日の流れに組み込む	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。